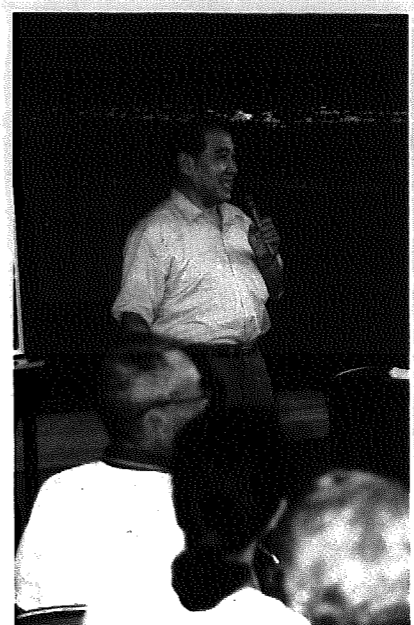


八月七日に開催された「健康づくり講演会」から 「長寿社会を美しく生きるには」

先月七日、公民館講堂で行われた「健康づくり講演会」には大勢の聴衆が詰めかけ、蒲原先生の講演に耳をかたむけていました。そこで今回は、講演会にこられなかった人たちのためにその講演内容の一部をご紹介します。

国家としては、医師にもかからず、銭も使わないで、生き生きと暮らしてコロッと死んで欲しいと思つています。また、皆さんもそう願つていて欲しいです。でもうまく行かないのが人生です。だから現実をしっかりと見極めて生きていく必要があります。

人間が生きていく中で、絶対と言うことがいえるのは、人間は生まれたら必ず死ぬということです。生き方は、いろいろあるけれど思考錯誤の連続です。世の中で間違いはないということはないと思います。だから、世の中は楽しいということよりも、むしろ苦しいということが本質的にあると思います。この苦しい世の中のことを昔の人は、娑婆と言ったのです。これは、忍界



に暮らして、幸せに死んでいきたいと願っています。幸福を求めるというのは、三つの方法があります。一つには、超人間的（神・仏）な力に頼ろうとする事です。二つ目には、世の中の仕組みを種々とかえてみて、それによって幸福を得ようとする事です。三つ目は、人間が人間の理性を信じ、人の手によって幸福



講師 蒲原 宏さん
大正12年新潟市生まれ新潟医科大学、海軍軍医学学校卒、S59新潟日報文化賞受賞、医学博士、県立がんセンター副院長、新大講師、県史編集委員、俳誌「雲」顧問などを歴任

を得ようとする事です。これら単独では、本当の幸福は無理です。三つのバランスがとれて人間の幸福が得られるのです。

欲というのには七つあり、①財欲、②色欲、③食欲、④眠欲、⑤怒欲、⑥名譽欲、⑦死にたくない欲があります。五番目の怒りは身体に関係があります。怒りを何回も繰り返していると、身体に変化が現れ病

気にもなりやすくなります。ですから、怒りや欲望を上手に制限することが必要です。そうすると、言葉も優しくなり、生活自体も柔らかくなります。そして、心も美しく

なります。辛抱する事にも、ユーモラスに考えながら辛抱する事が大事です。また、頭の中に自分で正しいと思うことや善と思

う事を一杯にすると、人の良い話を受入れる事ができなくなります。自分に絶対なんてことはないのですから、少し他人の言葉も入れる部分を開けておくことも必要です。

いい事を取り入れ、悪い事ははじき出すと言う姿勢は美しく生きる為の良い方法だと思います。そして、どの様にしたら若い人の力を伸ばしていけるかという事も考えてほしいと思います。その根本は誉めることだ

と思えます。「やってみせて、ゆうてきかせて、やらせてみて、ほめてやる」ことが大切なんだそうです。老



ユーモアを交じえた講演を熱心に聞き入る聴衆たち

いるまで生きたことに有りがたさを感じ、自分自身が自分自身で生きているんじゃない、自分に生かされてるんだと考えますと、自分の命をおろそかにすることはできません。人に迷惑をかけるかもしれないけれど、その時は「宜しくお願ひします」という態度がこの世を美しく生きることになるのではないのでしょうか。柔らかな心が、怒る心と反対に社会をよくし家庭をよくし、おのれを良くしていくと思います。健康保持の根本は心にあります。薬やまじない、特効薬そんなものではないことを考えていただきたいと思つています。何を食べ、飲んで、吸つてもこの年になつたら結構です。但し量をすぎないように、ひとつのものに偏らないようにしてください。そして、年に一、二回は必ず定期検診を受け、その結果に従ってください。



第73回二科展出品作品(山田達雄氏作)



山田達雄と教え子展 9月25日火～10月12日金まで

感性あふれる絵画の世界を 心ゆくまでご鑑賞ください



山田 達雄さん
(和納7区・65歳)

画歴
1943年太平洋美術学校修了、49年二科展初入選、69年二科展特選、70年二科会友推挙、72年二科会会員推挙、75年二科会エジプト展出品、80年二科会会員努力賞、86年サロントーン又展招待出品、87年サロントーン又会員推挙、88年二科会評議員、90年県展委員、86～88年燕市美術展審査員。
現在
二科会評議員、同会新潟支部長、サロントーン又会員、新潟県美術家連盟理事、県展委員。

山田達雄先生やその教え子たちの感性あふれるすばらしい作品群に、一人でも多くの方々からふれてもらおうと今月二十五日から、公民館で「山田達雄と教え子展」が始まります。

山田さんは、二科会の大御所としてたゆまぬ情熱を燃やしつつける郷土の芸術家で、主宰する絵画教室には地元だけでなく吉田町、分水町、新潟市など約二十人が学んでいます。

今回の展示は、山田さんをはじめその師弟たちの作品(約百点)を一堂に会して展示します。展示作品も二科展入選作をはじめ感性あふれる力作を多数展示。そして、みなさんからより一層親しんでもらおうと各絵に一言メッセージも添付。それに展示会場もゆつくりとご覧いただけるように雰囲気づくりにも工夫。ぜひ、みなさんもこの機会に、感性あふれる絵画の世界にふれてみませんか。
なお、期間中の入場は自由で、時間は午前八時半から午後九時までです。ただし、月曜日は休館日です。

